

平成30年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は市政に対し、温かいご支援とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

私は、市長に就任し2年が経過しました。これまで、さまざまな市政の課題に対して、本市の発展のため、誠心誠意、全力で取り組んできました。

昨年は、7月に発生した九州北部豪雨により、甚大な被害がもたらされました。自然の力に対する脅威と災害に対する迅速かつ的確な対応の重要性を再認識いたしました。被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

本市におきましては、鈴田地区の般廃棄物最終処分場の竣工、新市立大村市民病院の開院など、市民生活に密着した大規模事業が完了し、さらなる地域活性化を目指し、新工業団地の造成や県立市立「体型図書館(仮称)の建設など大型事業に着手いたしました。

また、「大村市」を全国に発信するため、大村公園において、「光」をテーマにしたイベント「大村の神

社に浮遊する球体、呼応する城跡と森」の開催や、大村湾の活用と大村湾流域市町の連携を目的とした「海フェスタ大村湾」を流域5市5町が一体となつて取り組みました。

中でも、自転車で大村湾を周遊する「大村湾ZEEKKERライド」は、各市町の連携により、成功裏に終了することができました。

さて、本年は、国道34号大村・諫早間4車線化の実現、新大村駅(仮称)周辺整備、ボートレースのナイトレース実施や、一昨年策定した「第5次大村市総合計画」に定めた将来像「一歩行きたい、働きたい、住み続けたい」しあわせ実感都市「大村」の実現を目指し、子育て支援の更なる充実などの各施策を全力で取り組んでまいります。

引き続き、この一年も市民の皆さまの声をお伺いしながら、市民総参加「オール大村!」でまちづくりを推進してまいりますので、ご理解・協力をお願いいたします。

結びに、皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



市民総参加「オール大村!」でまちづくり

大村市長 園田 裕史

平成30年 新年のごあいさつ

謹賀新年

「COCOAR2」を起動して、「謹賀新年」の文字を読み取ろう!AR動画がご覧いただけます。ダウンロード方法は、4ページ。動画は、市ホームページやYouTube市公式チャンネルにも公開しています。



新年、明けましておめでとうござ
います。皆さまには、希望に満ちた新
しい年の始まりを健やかに迎え
たいと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、市政の推進や議
会活動に対し温かいご理解とご協
力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年5月に、議長へ就任以来、市
民の皆さまにとって、より身近で開
かれた議会の実現を念頭に置き、
議会運営に努めてまいりました。
初春を迎え、本市のさらなる発展
のために、引き続き努力してまい
りたいと決意を新たにしております。

さて、地方創生が国家戦略とし
て推進され、地方自治体は、急速
に変化する社会情勢や自然災害へ
の対応、人口減少・少子高齢社会
の進展など、将来におけるまちづ
くりに対する自治体の姿勢と力
量が問われております。

こうした中、本市は、地方創生
の実現に向けた取り組みを推進
し、併せて、九州新幹線西九州
ルートの開業を見据えたまちづく
りや全線フル規格の早期実現をは
じめ、国道34号大村・諫早間の4車
線化、新工業団地の整備・企業誘
致など、着実な事業の進捗に向け、

市民と行政が一体となり、取り組ん
でいかなければなりません。大村市
は、今まさに将来を左右する、極め
て重要な時期を迎えております。

昨年は、日本各地で豪雨や台風
などの自然災害が猛威をふるい、
特に7月に発生した、九州北部豪
雨災害では、福岡県、大分県を中
心に甚大な被害をもたらし、改め
て、災害に対する備えの大切さを
痛感させられた年となりました。

さらには、北朝鮮による、核実
験・弾道ミサイル発射の脅威にさ
らされ、憂慮すべき事態が続いてお
ります。引き続き、市や関係機関
と綿密な連携のもと、安全・安心に
暮らせるまちづくりを重点に推進
してまいります。

大村市議会は、今後とも、常に
改革・進化に取り組みながら、皆さ
まの信頼と期待に応えるべく、本
市のさらなる発展のために、全力を
傾けてまいり所存であります。

本年も市議会に対し、ご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、皆さまにとり
まして、今年一年が実り多い年であ
りますことを心からお祈り申し上
げ、新年のごあいさついたします。

発展ある大村を見据えたまちづくりへ

大村市議会議員 三浦 正司

